

# 2023 年度環境経営レポート

(実施期間 2023 年 8 月～2024 年 7 月)



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



作成日 2024 年 10 月 10 日  
改訂日 2025 年 1 月 24 日

株式会社 山村製作所

## 目 次

|                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 環境経営方針                         | ・・・ 1  |
| 2. 組織の概要                          | ・・・ 2  |
| 1) 事業者名及び代表者氏名                    |        |
| 2) 所在地                            |        |
| 3) 事業活動の内容                        |        |
| 4) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先            |        |
| 5) 事業の規模                          |        |
| 6) 対象範囲                           |        |
| 7) EA21 実施体制図                     |        |
| 3. 環境経営目標                         | ・・・ 4  |
| 4. 環境経営計画                         | ・・・ 6  |
| 5. 環境経営目標の実績                      | ・・・ 7  |
| 6. 環境経営計画の取組結果とその評価               | ・・・ 8  |
| 7. 次年度以降の環境経営目標及び環境経営計画の取組内容      | ・・・ 11 |
| 8. 環境関連法などの遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無 | ・・・ 14 |
| 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示             | ・・・ 15 |

## 1. 環境経営方針

# 環境経営方針

### 〈環境経営理念〉

株式会社 山村製作所は、板金・プレス加工の事業活動における環境負荷の低減を課題とし、経営環境システムの構築、運用の継続的改善に努め、持続可能な社会を実現するため、SDGs の活動を推進します。

全社員の協力のもと、積極的な保全・改善を進めるため、以下の基本方針を定めます。

### 〈基本方針〉

1. 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 省資源・リサイクルにより廃棄物の削減に取り組みます。
4. 節水により水使用量の削減に取り組みます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 当社が生産・販売・提供する製品の環境配慮を促進します。
7. この方針を全社員に周知すると共に社外にも開示します。

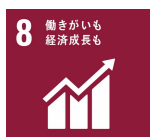
制定 2011 年 8 月 1 日

改訂 2024 年 8 月 1 日

株式会社 山村製作所

代表取締役

山村 容弘



## 2. 組織の概要

### 1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 山村製作所  
代表取締役 山村 容弘

### 2) 所在地

〒504-0957  
岐阜県各務原市金属団地 23 番地 2 (本社・第一工場)  
〃 24 番地 1 (第二工場)

### 3) 事業活動の内容

板金・プレス加工による空調機部品・昇降機部品の製造

### 4) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

|           |              |
|-----------|--------------|
| 責 任 者     | 山村 容弘        |
| 担 当 者     | 山村 万里子       |
| 連 絡 先 電 話 | 058-371-2716 |
| F A X     | 058-382-8136 |

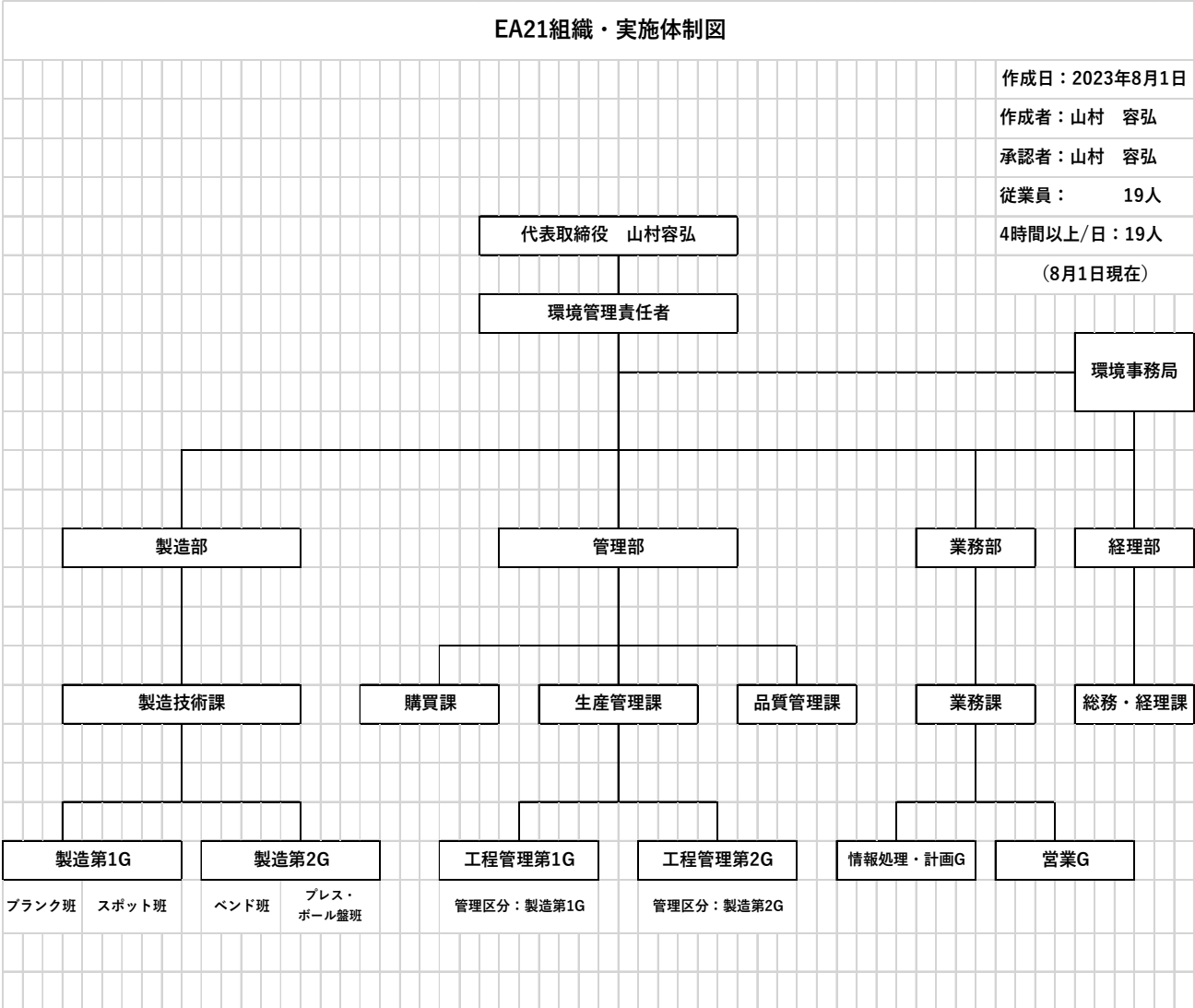
### 5) 事業の規模

|         |                                                      |
|---------|------------------------------------------------------|
| 法人設立年月日 | 昭和 63 年 12 月                                         |
| 売 上 高   | 29.780 万円 (2023 年 8 月～2024 年 7 月)                    |
| 従 業 員 数 | 19 人                                                 |
| 敷 地 面 積 | 第一工場 1,138 m <sup>2</sup> 第二工場 636.64 m <sup>2</sup> |
| 床 面 積   | 第一工場 1,252 m <sup>2</sup> 第二工場 636.64 m <sup>2</sup> |

### 6) 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 対 象 組 織   | 全社                        |
| 活 動 範 囲   | 板金・プレス加工による空調機部品・昇降機部品の製造 |
| レポートの対象期間 | 2023 年 8 月～2024 年 7 月     |
| 発 行 日     | 2024 年 10 月 10 日          |

7) EA21 実施体制図



| 役割・責任・権限 |                             |
|----------|-----------------------------|
| 役割       | 責任 ・ 権限                     |
| 代 表 者    | ・ 環境経営方針の制定                 |
|          | ・ 環境経営管理責任者の任命              |
|          | ・ 環境経営資源（人員・設備・費用等）の確保      |
|          | ・ 代表者による全体の評価と見直し           |
| 環境管理責任者  | ・ 環境経営システムの構築・運用・維持         |
|          | ・ 環境経営関連法規等の遵守の確認           |
|          | ・ 教育と訓練の計画と実施               |
|          | ・ 外部からの苦情の受付と必要な対応          |
| 環境事務局    | ・ 環境経営目標・環境経営活動計画書原案作成      |
|          | ・ 環境経営関連文書及び記録の作成・管理等       |
|          | ・ 環境経営活動の実績集計               |
|          | ・ 環境経営関連法規の取りまとめに基づく遵守評価の実施 |
| 全従業員     | ・ 環境経営方針に基づく取組みへの積極的な参加     |
|          | ・ 実施状況確認・記録を事務局へ提出          |

### 3. 環境経営目標

環境経営目標は、2022 年度（2022 年 8 月～2023 年 7 月）の実績を基準値として下記の通りに設定します。

購入電力の二酸化炭素排出量の換算は、中部電力㈱の 2022 年度調整後排出係数「0.440 kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を採用します。

カッコ（ ）内は 2022 年度売上実績による売上高原単位を表示しています。

※ 2022 年度売上 312.6 百万円

| 削減項目等                             |            | 2022 年度<br>実績      | 2023 年度<br>0.5%削減        | 2024 年度<br>1%削減          | 2025 年度<br>1.5%           |
|-----------------------------------|------------|--------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 二酸化炭素排出量<br>kg-CO <sub>2</sub>    |            | 271,705<br>(869)   | 270,346<br>(865)         | 268,988<br>(860)         | 267,629<br>(856)          |
| 総エネルギー使用量                         | 電気使用 (kWh) | 587,293<br>(1,879) | 584,357<br>(1,870)       | 581,420<br>(1,870)       | 578,484<br>(1,851)        |
|                                   | ガソリン (L)   | 4,680              | 4,657                    | 4,633                    | 4,610                     |
|                                   | 軽油 (L)     | 271                | 270                      | 268                      | 267                       |
|                                   | 灯油 (L)     | 699                | 696                      | 692                      | 689                       |
| 一般廃棄物排出量削減 (t)<br>可燃ゴミ, ダンボール     |            | 2.598<br>(0.00831) | 2.585<br>(0.00827)       | 2.572<br>(0.00823)       | 2.559<br>(0.00819)        |
| 産業廃棄物等排出量の削減(t)<br>鉄, ステンレス等スクラップ |            | 179.62<br>(0.575)  | 178.72<br>(0.572)        | 177.82<br>(0.569)        | 176.93<br>(0.566)         |
| 水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )         |            | 162.50             | 161.69                   | 160.88                   | 160.06                    |
| グリーン購入調査購入促進                      |            | 21 品目購入            | 21 品目                    | 21 品目                    | 21 品目                     |
| 製品・製造への環境配慮                       |            | 不具合品排出量<br>データの収集  | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>5%削減 | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>8%削減 | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>10%削減 |
| 有害化学物質の適正な管理                      |            | 適正な管理              | 適正な管理                    | 適正な管理                    | 適正な管理                     |

- 1) 二酸化炭素排出量は、電気、ガソリン、軽油、灯油使用量ともに 2022 年度を基準に 2023 年度は 0.5%、2024 年度は 1.0%、2025 年度は 1.5%の削減を目標とします。

購入電力の二酸化炭素排出量の換算について、2023 年度～2025 年度の 3 年間は「0.440 kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を採用します。(中部電力㈱の 2022 年度調整後排出係数を採用)

ガソリンは 2.32kg-CO<sub>2</sub>/L, 軽油は 2.58kg-CO<sub>2</sub>/L, 灯油は 2.49kg-CO<sub>2</sub>/L を採用します。

- 2) 一般廃棄物排出量においては可燃ごみ及びダンボール、シュレッダー用紙の合計とし、2023 年度は 0.5%、2024 年度は 1.0%、2025 年度は 1.5%の削減を目標とします。

産業廃棄物排出量は、金属スクラップ（有価物）とし、2023 年度は 0.5%、2024 年度は 1.0%、2025 年度は 1.5%の削減を目標とします。

- 3) 水使用量は、上水使用量がそのまま排水されるものとし、2023 年度は 0.5%、2024 年度は 1.0%削減、2025 年度は 1.5%の削減を目標とします。

- 4) 事務用品のグリーン購入に関しては、グリーン用品の選定を継続し基準年度の 21 品目の維持を目標とします。

- 5) 製品・製造への環境配慮に関しては、歩留りの研究による材料の有効使用及び在庫製品の適切な管理・使用、また、不具合品削減の為の改善活動の取組みを通じスクラップの排出削減に努めます。

\*有害化学物質に関しては、機械に使用する潤滑油についても、漏れのチェック  
機械メーカーによる交換作業時の立会い確認等、適正に管理します。

#### 4. 環境経営計画

| 2023 年度<br>環境経営目標                                   |                                         | 2023 年度取組内容<br>実施期間：2023 年 8 月～2024 年 7 月 | 実 施<br>担当部署 |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------|-------------|
| 二<br>酸<br>化<br>炭<br>素<br>排<br>出<br>量<br>の<br>削<br>減 | 電力使用量の削減<br>基準年比 0.5%削減                 | ・手順及びチェック表の見直し                            | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・節電ステッカー貼付・節電実施（不要照明 OFF）                 | 全 社         |
|                                                     |                                         | ・エアコン温度管理・設備不使用時電源 OFF                    | 全 社         |
|                                                     |                                         | ・製造設備不稼動時電源 OFF                           | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・コンプレッサーエア漏れチェック                          | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・フロン漏れ簡易点検（年 4 回）                         | 経 理         |
|                                                     | 化石燃料使用量の削減<br>基準年比 0.5%削減<br>ガソリン、軽油、灯油 | ・手順及びチェック表の見直し                            | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・ポスター掲示                                   | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・エコドライブ・アイドリングストップ                        | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・車両の運行管理及び点検整備                            | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・灯油使用管理                                   | 製 造         |
|                                                     | 一般廃棄物及び産業廃棄物<br>排出量の削減<br>基準年比 0.5%削減   | ・分別ボックス設置・ラベル添付の確認                        | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・廃棄物の分別徹底                                 | 全 社         |
|                                                     |                                         | ・廃棄物処理業者選定・契約・運用                          | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・リサイクル・4S 活動                              | 全 社         |
| 水使用量の削減<br>基準年比 0.5%削減                              |                                         | ・節水ステッカー貼付の確認                             | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・手洗節水・散水節水                                | 全 社         |
|                                                     |                                         | ・漏水チェックの徹底                                | 全 社         |
| グリーン購入の促進<br>21 品目購入                                |                                         | ・グリーン購入基準年度実績維持                           | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・事務用品のグリーン購入調査                            | 経 理         |
|                                                     |                                         | ・製品運搬容器の共同利用・包装(ダンボール等)再利用                | 製 造         |
| 製品・製造への環境配慮<br>工程内不具合品の削減<br>基準年度比 5%削減             |                                         | ・取引先とのコミュニケーションの徹底                        | 社 長         |
|                                                     |                                         | ・新規の製品開発における環境配慮の提案                       | 社 長         |
|                                                     |                                         | ・工程内不具合品排出調査の実施                           | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・歩留り向上のチェック                               | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・稼働率向上の推進                                 | 製 造         |
| 人材教育                                                |                                         | ・改善活動の定期的な実施                              | 全 社         |
|                                                     |                                         | ・グループワークによるコミュニケーションの向上                   | 全 社         |
| 有害化学物質の適正な管理                                        |                                         | ・機械に使う潤滑油の漏れのチェック                         | 製 造         |
|                                                     |                                         | ・機械メーカーによる潤滑油交換時の立会い確認                    |             |



## 5. 環境経営目標の実績

環境への取り組みの実施期間は、2023 年 8 月から 2024 年 7 月の 1 年間として、基準年度との達成状況を使用量及び売上高原単位において比較しました。

(但し、ガソリン・軽油・灯油に関しては、使用量が少ない為原単位表示は省く)

| 削減項目等                                        |             | 2022 年度<br>実 績<br>(基準値) | 2023 年度<br>目 標<br>0.5%削減 | 2023 年度<br>実 績           | 対基準<br>年度比較<br>増減(%) | 評価<br>○× |
|----------------------------------------------|-------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------|----------|
| 二酸化炭素排出量<br>kg-CO2 (kg-CO2/百万円)              |             | 271,705<br>(869)        | 270,346<br>(865)         | 240,277<br>(807)         | -11.57<br>(-7.13)    | ○<br>(○) |
| 総<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>使<br>用<br>量    | 電気使用量 (kWh) | 587,293                 | 584,357                  | 517,380                  | -11.90               | ○        |
|                                              | 〃 (kWh/百万円) | (1,879)                 | (1,870)                  | (1,737)                  | (-7.56)              | (○)      |
|                                              | ガソリン使用量 (L) | 4,680                   | 4,657                    | 4,608                    | -1.54                | ○        |
|                                              | 軽油使用量 (L)   | 271                     | 270                      | 204                      | -24.72               | ○        |
|                                              | 灯油使用量 (L)   | 699                     | 696                      | 567                      | -18.88               | ○        |
| 一般廃棄物排出量の削減 (t)<br>可燃ゴミ・ダンボール<br>(t/百万円)     |             | 2.598<br>(0.00831)      | 2.585<br>(0.00827)       | 2.579<br>(0.00866)       | -0.73<br>(4.21)      | ○<br>(×) |
| 産業廃棄物等排出量の削減 (t)<br>鉄・ステンレス等スクラップ<br>(t/百万円) |             | 179.62<br>(0.575)       | 178.72<br>(0.572)        | 166.98<br>(0.561)        | -7.04<br>(-2.43)     | ○<br>(○) |
| 水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )                    |             | 162.50                  | 161.69                   | 143.00                   | -12.00               | ○        |
| グリーン購入調査購入促進                                 |             | 21 品目購入                 | 21 品目購入                  | 27 品目入                   | 達成                   | ○        |
| 製品・製造への環境配慮                                  |             | 不具合品排出量<br>データの収集       | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>5%削減 | 不具合件数 30%増<br>不具合個数 15%増 | 未達成                  | ×        |
| 人材教育                                         |             | 改善活動及び<br>グループワーク       | 改善活動及び<br>グループワーク        | 改善活動及び<br>グループワーク        | 達成                   | ○        |
| 有害化学物質の適正な管理                                 |             | 適正な管理                   | 適正な管理                    | 適正に管理                    | 達成                   | ○        |

注記：評価は目標値を達成した場合は○、未達成の場合は×と表示しています。

購入電力の二酸化炭素排出量の換算は、中部電力㈱の 2022 年度調整後排出係数「0.440kg-CO2/kWh」を採用しています。

かっこ( )内は 2022 年度、2023 年度それぞれの売上高原単位表示とします。

2022 年度売上 312.6 百万円 / 2023 年度売上 297.8 百万円

## 6. 環境経営計画の取組結果とその評価

2023年度は、基準年度比較で売上が4.73%減少、電力・ガソリン・軽油・灯油の使用料も減少、一般廃棄物（可燃ゴミ及びダンボール）、産業廃棄物（鉄・ステンレス）の排出量、水の使用量も全て減少しました。

### 1) 二酸化炭素排出量の削減について

#### ① 取組結果

総エネルギー使用量のCO<sub>2</sub>重量換算において11.57%減少（達成）

電気使用量11.90%減少（達成）

ガソリン使用量1.54%減少（達成）、軽油使用量24.72%減少（達成）

灯油使用料18.88%減少（達成）

#### ② 評価

基準年度と比較し、売上げは4.7%と減少。二酸化炭素排出量は売上高原単位で7.13%の減少、電気使用量についても売上高原単位では7.56%の減少でした。

月別にみると、受注量＝生産量の多い月は比例して電力使用量も増加しますが、今年度は、生産管理システムにデータとして入っている作業標準時間が精査でき、日々の生産計画表通りに作業が進むようになり、不要な残業や休日出勤等が減少しより効率的な機械稼働時間に近づいていると思われます。

また、第二工場倉庫内に棚を新たに設置、床置き材料を整頓することで、リフトの稼働時間の短縮に繋がっています。

### 2) 廃棄物排出量の削減について

#### ① 取組結果

一般廃棄物の可燃ゴミ 7.3%減少（達成）

循環資源のダンボール 1.6%増加（未達成）

産業廃棄物（金属スクラップ） 7.04%減少（達成）

#### ② 評価

（可燃ゴミ）

事務方の協力のもと、日々溜まっていく新聞・雑誌・雑紙

等を徹底してリサイクル施設へ搬入。コピー用紙も出来る限り裏紙として再利用しています。

(ダンボール)

昨年度の課題であったダンボール排出量に関しては、部品の納入先より支給されるプラスチック製ダンボール(以下プラダン)の使用を増やしていましたが、今年度の中旬からプラダンを使用する機種部品の増産により、相手先からの回収が間に合わず通常のダンボールの使用量が増加しました。

(鉄・ステンレススクラップ)

売上高原単位においても2.43%の減少でした。売上(生産量)の減少に比例していますが、5月～7月においては、新規の受注品で使用する材料が板厚な為、切り抜いた破材や不具合品で出たスクラップの重量が増加。また、年間を通して工程内での不具合品の排出件数・個数が大幅に増加しました。(詳細は製品・製造への環境配慮に記載)

### 3) 水使用量の削減について

#### ① 取組結果

水使用量 12.0%減少(達成)

#### ② 評価

水の利用に関しては、ポスター掲示により節水の呼びかけを継続しています。

生産現場においては、スポット溶接作業工程で必要な水を貯水するポリタンクの水を入れ替える際にタイマーを使用し水量を一定に保つ工夫を続けています。

今年度は、そのスポット溶接に関わる製品の生産量が基準年度に比べ減少し、溶接時に使用する冷却水の使用量も減少しました。

### 4) グリーン購入の促進について

#### ① 取組結果評価

グリーン購入に関しては、基準年度購入品目数(21品目)と比較し27品目となり目標を達成できました。

新規商品を注文する際、カタログをチェックしできる限りグリーン購入のマークのついた商品を積極的に選定しています。

## 5) 製品・製造への環境配慮の促進について

### ① 取組結果

| 工程内不具合 | 基準年度比   |        |
|--------|---------|--------|
| 不具合件数  | 436 件増加 | (30%増) |
| 不具合個数  | 690 個増加 | (15%増) |

機械操作の未習熟による不具合品の排出が増え、また、リフト操作の際、完成部品が落下し全数破損となるケースもあり、結果、件数・個数とも増加となりました。

## 7. 次年度以降の環境経営目標及び環境経営計画の取組内容

### 1) 環境経営目標

次年度以降の環境経営目標を下記のように設定、使用量及び売上高原単位ともに削減目標とします。

(但しガソリン・軽油・灯油は使用量が少ない為原単位表示は省く)

購入電力の二酸化炭素の排出係数は、中部電力(株)の2022年度調整後排出係数「0.440kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を2023年度の1年間使用します。

かつこ( )内は2022年度売上実績による売上高原単位表示。2022年度売上312.6百万円

| 削減項目等                                     |           | 2022年度<br>実 績      | 2024年度<br>削減目標(%)           | 2025年度<br>削減目標(%)           |
|-------------------------------------------|-----------|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 二酸化炭素排出量<br>kg-CO <sub>2</sub>            |           | 271,705<br>(869)   | 1%<br>268,988<br>(860)      | 1.5%<br>267,629<br>(856)    |
| 総<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー<br>使<br>用<br>量 | 電気使用(kWh) | 587,293<br>(1,879) | 1%<br>581,420<br>(1,870)    | 1.5%<br>578,484<br>(1,851)  |
|                                           | ガソリン(L)   | 4,680              | 1%<br>4,633                 | 1.5%<br>4,610               |
|                                           | 軽油(L)     | 271                | 1%<br>268                   | 1.5%<br>267                 |
|                                           | 灯油(L)     | 699                | 1%<br>692                   | 1.5%<br>689                 |
| 一般廃棄物排出量削減(t)<br>可燃ゴミ,ダンボール               |           | 2.598<br>(0.00831) | 1%<br>2.572<br>(0.00823)    | 1.5%<br>2.559<br>(0.00819)  |
| 産業廃棄物等排出量の削減(t)<br>鉄,ステンレス等スクラップ          |           | 179.62<br>(0.575)  | 1%<br>177.82<br>(0.569)     | 1.5%<br>176.93<br>(0.566)   |
| 水使用量の削減(m <sup>3</sup> )                  |           | 162.50             | 基準年度維持                      | 基準年度維持                      |
| グリーン購入調査購入促進                              |           | 21品目購入             | 基準年度維持                      | 基準年度維持                      |
| 製品・製造への環境配慮                               |           | 不具合品排出量<br>データの収集  | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>8%削減    | 不具合品排出量<br>基準年度比<br>10%削減   |
| 人材教育                                      |           | 改善活動及び<br>グループワーク  | 改善活動及び<br>グループワーク<br>勉強会の開催 | 改善活動及び<br>グループワーク<br>勉強会の開催 |
| 有害化学物質の適正な管理                              |           | 適正な管理              | 適正な管理                       | 適正な管理                       |

## 2) 環境経営計画の取組内容

### (1) 二酸化炭素排出量の削減について

- ① 取引先のニーズや生産量の増加に対応できる生産管理システムの機能の追加や変更を進めます。
- ② 納期調整や工程管理の工夫を継続します。
- ③ 新規社員や担当替えに伴う機械設備に対する教育を深めます。
- ④ 全ての部署においてエアコンの設定温度管理を徹底します。  
(夏：27℃ 冬：20℃ 1階作業場 冬：15℃)  
上記の取組みにより、機械の効率的な稼動に繋げ使用電力の削減に努めます。
- ⑤ 第一工場及び第二工場倉庫内の整理整頓に努めます。  
床に一時的に置かれた材料や製品等の整理整頓を行いリフトの稼動時間・運転回数を減らし、ガソリン使用量の削減にも繋がります。

### (2) 廃棄物排出量の削減について

- ① 廃棄物の分別徹底・リサイクル・4 S活動を引き続き推進します。  
事業系廃棄物については、引続き可燃ごみとリサイクルに回せるものの分別を徹底します。
- ② スクラップに関しては材料在庫の適切な管理使用、製品生産時における歩留まりの工夫を継続及び不具合品の削減活動を通じ排出量を減らします。
- ③ ダンボールに関しては、製品納入の際に仕切りにする緩衝材としてのプラダン(プラスチックダンボール)の回収率を上げるとともにプラダンの支給量を増やしてもらうよう相手先との交渉を継続します。

### (3) 水使用量の削減について

- ① 水の使用量については、当社の場合年間の使用量が少ないことから、基準年度の維持を目標にし、売上高原単位表示を削除します。
- ② ポスターを貼り替え、節水の意識を継続します。
- ③ スポット溶接に使用するタイマーの使用の継続、貯水において無駄な水の使用を防ぎ、ポリタンクの水量を一定に保ち作業を行うなど、効率的な水使用の取組みを継続していきます。

### (4) グリーン購入の促進について

事務用品等のグリーン用品選定を継続、基準年度維持の目標を達成します。

(5) 製品・製造への環境配慮の促進について

工程内不具合の月毎の件数・個数の調査と改善指導の継続し、基準年度に対する削減目標をパーセンテージで提示、不具合品削減を通じスクラップの排出削減に努めます。

不具合品削減目標：2022 年度対比件数及び個数共に  
2024 年度-8%、2025 年度-10%

(6) 人材教育について

定期的な改善活動及びグループワークを行うとともに、年に一度、全社員対象に勉強会を開催します。勉強会の内容につきましては、年度毎にテーマを決めて行います。

(7) 有害化学物質の適正な管理について

機械に使用する潤滑油についても、次年度以降、漏れのチェック及び機械メーカーによる交換作業時の立会い確認等、適正に管理します。

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

環境関連法規は「環境関連法規などの取りまとめ/遵守評価一覧表」に取りまとめ、以下遵守状況の確認及び評価をしました。

| 適用法規等                             | 遵守項目                                          | 遵守評価確認 |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------|--------|
| 廃棄物処理法<br>各務原市廃棄物処理及び清掃に関する条例     | 廃棄物分別手順と保管場所の掲示                               | 遵守     |
|                                   | 委託契約書                                         | 遵守     |
|                                   | 可燃ゴミの持出し重量記録表記載                               | 遵守     |
| 家電リサイクル法                          | 回収業者への委託<br>リサイクル券の保管                         | * 遵守   |
| 自動車リサイクル法                         | 回収業者への委託<br>リサイクル券の保管                         | * 遵守   |
| 騒音・振動規制法                          | 機械プレス・コンプレッサー届出                               | 遵守     |
|                                   | 苦情受付処理記録                                      | 遵守     |
| 岐阜県公害防止条例<br>(騒音)                 | 走行クレーン届出 (2018. 12. 12 届出)                    | 遵守     |
| オフロード法<br>(特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律) | 基準適合車両の使用 (フォークリフト)                           | 遵守     |
| フロン排出抑制法                          | フロン漏れ簡易点検の実施                                  | 遵守     |
| 高圧ガス保安法                           | 容器置場の転倒防止対策                                   | 遵守     |
| グリーン購入法                           | 事務用品の購入<br>製品加工副資材の購入                         | 遵守     |
| 浄化槽法及び岐阜県浄化槽法施行細則                 | 保守点検実施 (年4回 5. 8. 11. 2月)<br>法定検査の実施 (年1回 3月) | 遵守     |

\* 当該期間中の自動車及び家電の回収業者への委託はありません。

※確認及び評価の結果は環境に関する苦情、違反、訴訟等の指摘はありませんでした。

なお、過去において上記に対する指摘はありませんでした。



## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2024 年 9 月 30 日  
代表者 山村 容弘

### 1. 全体の取組状況の評価

当社の生産部品の強みである換気空清機は、コロナ禍も落ち着き、生産調整による受注の減少から緊急な増産依頼とで年間を通じてのアップダウンの差が激しい1年であった。

生産活動においては、改良を重ねてきた生産管理システムを有効活用、今までの「作業標準時間」の見直しを行い、新たに算出された生産部品の「適正な標準時間」を基に作業改善を進め、時間短縮に繋げることが出来てきている。

また、人材不足解消の為、海外より技能実習生の受入れを行い、教育を通じて短期間でのスキルアップが生産活動に良い影響を与え、生産性の向上が図られるとともに、残業（時間外労働）時間も減少傾向にある。

環境活動においては、2月～3月にかけて男女共に更衣室を新設、2階事務所及び休憩室も増床工事を行い、社員の職場環境を整えることができた。

#### （ 環境経営目標の達成状況 ）

基準年度比較し売上が4.73%減少。

##### ＜エネルギー使用量＞

消費電力・ガソリン・軽油・灯油等、エネルギーの使用量全てにおいて基準年度を下回り結果、二酸化炭素排出量は目標値-0.5%に対し-11.57%と目標を達成。

##### ＜一般廃棄物＞

全体では-0.73%と目標は達成したが、ダンボールの排出量に関しては+1.6%と目標未達成。

##### ＜産業廃棄物＞

鉄・ステンレス等スクラップの排出量は-7.04%と目標を達成。

##### ＜水使用量＞

基準年度比-12%と目標達成。

##### ＜製品・製造への環境配慮＞

テーマである工程内不具合品排出量の削減目標-5%に対し、不具合件数では+30%、個数では+15%と大幅に増加、目標未達成であった。

##### ＜グリーン購入調査促進＞

調査の結果、21品目に対し27品目購入と目標達成。

( 環境経営計画 )

活動計画の実施により、目標の未達成もあるが概ね有効な結果が得られている事を確認。

( 環境関連法規等の遵守状況 )

法規遵守が出来ていることを確認。

( 実施体制 )

実施体制の維持が出来ていることを確認。

## 2. 見直し・指示

来期への見直しとして、

ダンボールの排出量削減の為、相手先と再度交渉し、プラスチック製ダンボールの使用量を増やすように努力する。

スクラップの排出量を更に削減出来るよう不具合品の調査を徹底する。

当社では、2023 年 5 月に SDGs 行動宣言を行い、2024 年 10 月に SBT 認定を取得。今後も EA21 の環境経営システムを継続活用、社員一人一人が主体となる改善活動を通じ、微力ながら脱炭素社会を意識した取組みに励むこと。

ダイバーシティを目指す。多様な人材を活用することで様々な価値観を共有し、新たな生産活動に活かしていく。

社内でのコミュニケーションを大切にすること。

## 3. 変更の必要性

環境経営目標及び環境経営計画 変更しました。

環境経営目標の変更について

- ・水の使用量に関しては、使用量が少ない為売上高原単位表示を省く。
- ・水使用量の削減目標を「基準年度維持」とする。
- ・グリーン購入の目標に関しても、「基準年度維持」とする。

環境経営計画の変更について

「人材教育」の項目を追加、次年度からは年一回の勉強会開催も計画する。

環境経営方針 変更しません

実施体制 変更しません